

研究成果	ロボット化人体モデル
利用分野	人体モデルによる評価が必要な様々な分野
<p>中小企業が利用できるシーズの概要</p>	
<p>従来、様々な分野で製品の評価や、技能の訓練・教育のために、人体の形態や機能を模擬したモデルが使われてきた。しかし、機能が非常に限定されていたり、応用範囲の狭いものが多い。</p> <p>本研究では、ロボット技術を活用し、救助活動（主に人体検索や人体搬送）の訓練や評価、理学療法士の養成支援用の人体モデルを開発してきた。特に、自動車の衝突実験以外ではあまり扱われていない人体の力学的な振る舞いのモデルに注目している。衝突試験では、死や重傷に至る現象の解明を主目的にしているが、本研究では、もっと穏やかな痛みや不快感に関わる現象のモデル化などに関して研究している。</p> <p>本研究の成果を提供するには、個別の目的に応じて、技術交流をしながら、研究開発を継続していく必要があると考えている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>レスキュー評価用ダミー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>理学療法士養成支援用下肢ロボット</p> </div> </div>	